

第3回広陵町の地域公共交通に関する 住民ワークショップ結果とりまとめ



広陵町企画部総合政策課



第3回ワークショップ概要

日時	令和4年9月17日（土） 13:00-15:30
場所	広陵町役場 3階 大会議室
参加者	町民の皆さん：8名 事務局（企画部総合政策課）：4名 オブザーバー（奈良交通株式会社）：2名 オブザーバー（近畿運輸支局奈良支局）：1名 委託先（株式会社クニエ）：3名
目的	町民のバスを利用した移動における課題を踏まえつつ、町で考えている市町村有償旅客運行案について説明を行い、町民の受容性や問題意識等についてワークショップ方式で把握すること
テーマ	持続可能な広陵元気号の利用について考えよう その3
検討事項	①これまでのWSで得られたご意見のとりまとめについての感想、実現化に向けた具体策や課題の把握について ②新たな公共交通の利用に向けた認知度向上と利用促進に向けたアイデア等について

第3回ワークショップのスケジュールと内容

時間	内容
13:00～	開会あいさつ
13:05～	これまでのWSで得られたご意見のとりまとめ説明
13:25～	グループワーク①
13:55～	休憩
14:00～	グループワーク②
14:45～	各班の発表
15:15～	閉会のあいさつ
15:25～	事務局からの連絡
15:30	閉会

グループワーク概要

◆ テーマ

- ワーク①：これまでのWSで得られたご意見のとりまとめについての感想、実現化に向けた具体策や課題の把握
- ワーク②：新たな公共交通の利用に向けた認知度向上と利用促進に向けたアイデア等について

◆ グループ分け・参加者情報

班	居住エリア		年齢	性別	仕事	日頃の交通手段	広陵元気号の利用頻度	参加目的
A	真美ヶ丘 広陵北	a	70代	男	元技術営業	自家用車	なし	免許返納後の利用を想定
		b	75歳～	男	元会社員	自家用車・電車	なし	免許返納後の利用を想定
		c	60代	女	主婦	電車、元気号、車等	月2～3回	元気号（存続希望）に役立ちたい
B	広陵北 広陵西 広陵東	d	75歳～	男	シルバー人材センター	自家用車	なし	将来のため
		e	75歳～	男	元区長	自家用車	年4回	気になったため
		f	60代	女	主婦	自家用車	なし	広陵町のことが知りたい
		g	60代	男	元銀行員	自家用車	なし	広陵町のことが知りたい
		h	80代	女	自営業	広陵元気号	週1～2回	広陵元気号について考えたい

グループワーク①

これまでのWSで得られたご意見のとりまとめについての感想、実現化に向けた具体策や課題の把握

中央幹線、支線（デマンド）のとりまとめについて、それぞれの良いと思うことを黄色カード、心配等の良くないと思うことを赤色のカードに書く

とりまとめについて

Good

Bad

中央幹線

運行本数	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
運行ルート	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
停留所	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink

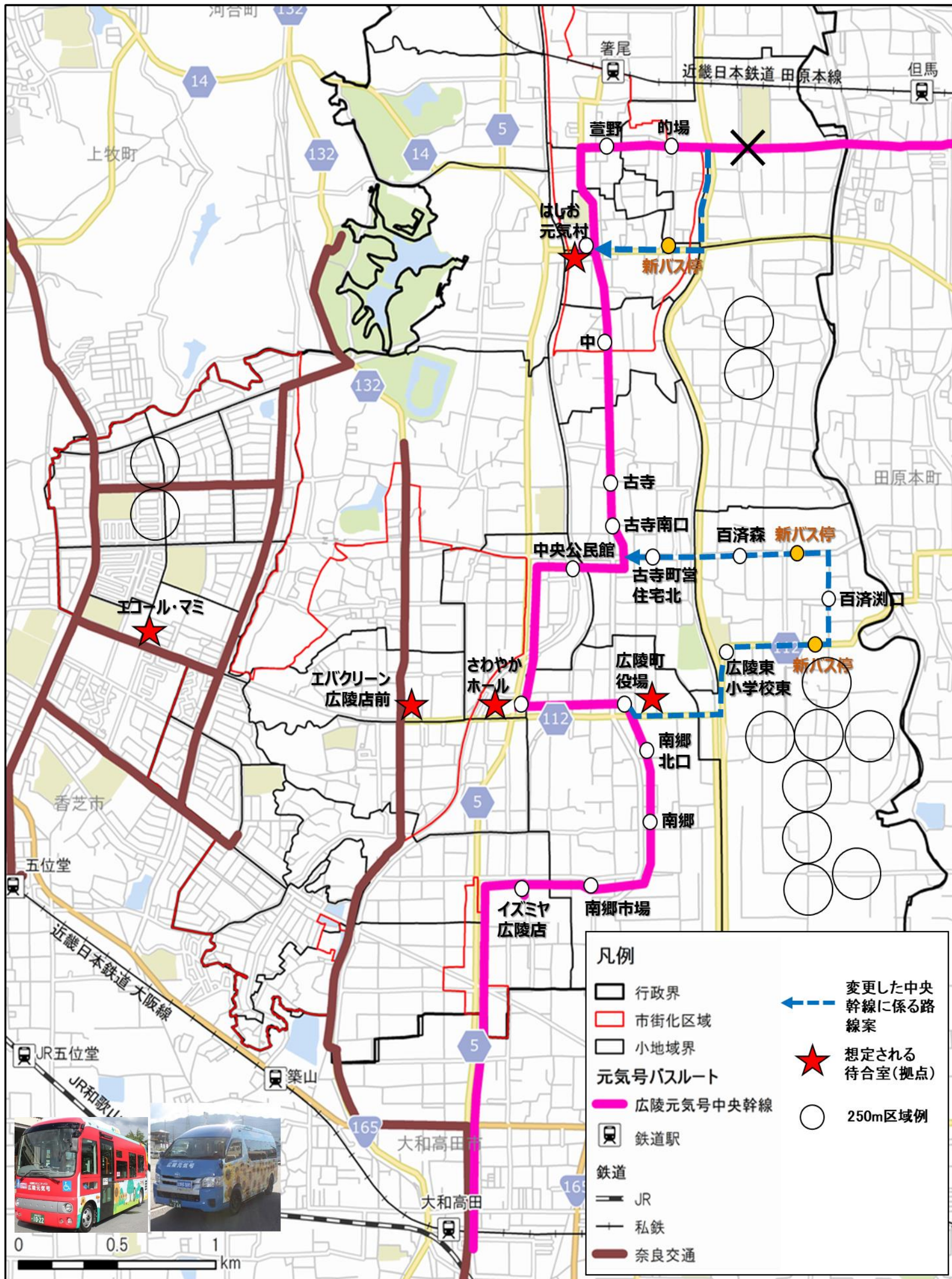
支線
(デマンド)

乗降地点表示	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
乗継地点	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
運賃	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
支払方法	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink
予約システム	Yellow	Yellow	Yellow	Pink	Pink	Pink

とりまとめ内容の良い点、悪い点を踏まえ、実現化に向けた具体的な受容性、課題意識の把握

区分	項目	今後検討すべき内容
中央幹線	運行本数	デマンドとの乗継運行をする際に実現可能な運行本数 (現在2時間に1本程度)
	運行ルート	現在運行中から廃止、追加する運行ルート
	停留所	検討中の追加ルート上の停留所位置
支線 (デマンド)	乗降地点表示	乗降地点表示をペイントとする乗降地点の表示内容
	乗継地点	デマンド⇄中央幹線、路線バスに乗継乗車する場合に、乗継地点位置
	運賃	目的地まで乗継運行となる場合の乗継運賃
	支払方法	乗り放題や回数券を設定する場合に、希望するパッケージ回数やその他条件
	予約システム	アプリ、LINE以外の電話による予約システムの導入

これまでの意見等とりまとめイメージ



当初案とご意見等踏まえた方向性案（中央幹線）

- ① 中央幹線を増便し、大和高田駅行を強化
→1時間に1本程度に増便した方が良い
- ② 朝の通勤・通学時間は南部支線の大和高田駅行きを存続
→制度的に難しいことが判明、中央幹線で朝の通勤・通学時に百済方面を回る方法を検討
- ③ 終点を国保中央病院から観光拠点の馬見丘陵公園へ変更
→馬見丘陵公園にすると既存のバス路線への影響が想定される。そこで、利用ニーズが把握された的場への停車と、その後のバスの反転等のスペースを勘案して、葛城川を越えた県道108号を南下し、鳥居大橋を右折して「はしお元気村」へ向かうルートを検討

当初案とご意見等踏まえた方向性案（支線デマンド）

- ① 町内移動の充実させるため予約式で運行するデマンド型に移行
→全体的に賛成
(想定) ・あらかじめ決められたバス停間の移動
・町外(駅)へは、路線バス又は広陵元気号(中央幹線)へ乗り継ぎ

	ご意見
乗降場所のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のバス停はなくてもよいが、自宅付近、目的地ごとの乗降地点ニーズに合わせたあり方が必要
幹線との接続での待ち時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10分程度 ・ 大和高田駅以外には乗継しないで行けるようにしてほしい ・ 乗継がうまくいかなかった際に、目的地までどう行くのか心配
幹線で止まってほしい場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線バス停留所の見直し、新設を検討してほしい ・ 乗継待ちを想定して時間をつぶせるスーパー等の施設がいい
乗車時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 15分程度
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット、LINE、電話
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100～200円 ※乗換追加料金なし ・ 高齢者、障がい者、子どもには割引運賃制度が必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗継地点は待ち時間を考慮して椅子や屋根を付けてほしい

グループワーク②

新たな公共交通の利用に向けた認知度向上と利用促進に向けたアイデア等

認知度向上と利用促進

認知度向上

利用促進

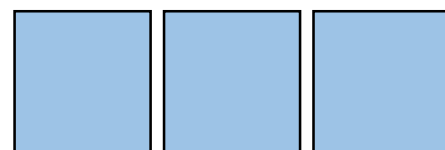
イベント



情報発信



その他



広陵元気号を、知ってもらうためにやったらいいと思うアイデアを黄色のカード、乗車を促すためにやったらいいと思うアイデアを赤色のカードに書く



これまで認知向上、利用促進に向け実施してきた内容を踏まえ、イベント、情報発信、その他の項目ごとに望まれる取組等について把握

グループワークの結果

これまでのWSで得られたご意見のとりまとめについて、良い点と悪い点は以下の通りである。悪い点としてあがった内容については、今後運行内容の調整を進めるうえで検討が必要がある。

		Good	Bad
中央幹線	運行本数	本数は1時間に1本程度が望ましいが、1.5時間に1本でもよい。	百済エリアの運行は、通勤・通学の利用が多い朝・夕のみにし、運行本数を増やしてほしい。
	運行ルート	事務局案でよい。	国保中央病院へのルートは、朝の時間帯1本のみ残してほしい。
	停留所	的場エリアに新しいバス停ができるのはよい。	百済エリアを周るのであれば、役場の北側にバス停を1つ追加してもよいのではないかな。
支線(デマンド)	乗降地点表示	道路へのペイントでよい。	—
	乗継地点	高田駅に行く場合、イズミヤでの乗り継ぎは必須になったとしてもよい。	乗り継ぎは不便かつ時間がかかってしまうため、なるべく乗り継ぎはなしの方がよい。
	運賃	可能であれば100円/回がよいが、200円/回までなら良い。	乗継運賃が400円になるのは高い印象。距離別運賃、割引や無料対象者の条件を用意してほしい。
	支払方法	10枚1セットの回数券（11回分の乗車可能）や乗り放題等、色々な支払い方法があったほうがよい。	10枚1セットの回数券のほか、運賃がお得になる支払方法は複数用意してほしい。
	予約システム	アプリやLINEでの予約の方が便利	—

これまでのWSで得られたご意見のとりまとめについて、良い点と悪い点は以下の通りである。悪い点としてあがった内容については、今後運行内容の調整を進めるうえで検討が必要がある。

		Good	Bad
中央幹線	運行本数	現在の2時間に1本が、1.5時間に1本になるなら使いやすくなる。	始発終点を調整し、乗車数の多い区間は本数を増やせないか。
	運行ルート	とりまとめの内容でよい。	的場から国保中央病院には、午前中の移動手段は何か必要。(通院は午前中に集中するため)
	停留所	現在の停留所、追加運行ルート上の停留所案は良いと思う。	—
支線(デマンド)	乗降地点表示	住宅地は路面ペイント、商業施設等は簡易ポール等の目印があれば迷わずに行けるので良い。	路面ペイントの表示は、番号と乗降地点名をペイントすると誰でもわかりやすく迷わない。
	乗継地点	中央幹線の全停留所で乗継できることで、目的地まで到着が速くなるなら良い。	利用者の状況に応じて乗継地点を減らすなど、利用状況を見て柔軟に対応できると良い。
	運賃	乗継運行の場合、幹線や路線バス+デマンドの運賃が必要なのは理解できるが、~300円ぐらいだと嬉しい。	乗車距離に応じた運賃設定等で少し安く乗れる方法があると助かるが、一律運賃の方が誰でもわかる。
	支払方法	10枚1セットの回数券(11回分の乗車可能)や乗り放題があれば、利用者は使いやすい。	1日乗車券という選択肢もあっていいのではないか。
	予約システム	アプリやLINEで自分の好きなタイミングで予約できるのは便利。	運行開始時期は、アプリ等をうまく使いこなせない場合もあるので、電話という選択肢があると安心。

グループワーク①実現化に向けた具体策や課題 まとめ -中央幹線-

中央幹線のとりまとめ内容を踏まえ、各班からあがった今後検討してほしい内容をまとめると以下の通りである。

項目		各班の意見		全体まとめ（今後の検討事項）
中央幹線	運行本数	A	1.5時間に1本でよいが、百済エリアの運行は利用が多い朝・夕のみにし、運行本数を増やしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 乗客の多いエリアの運行本数の増加（乗客の少ないエリアの運行本数の減便や、乗降客の少ない停留所の通過等により増便できるか）
		B	1.5時間に1本なら使いやすくなるが、乗客の多い区間は本数を増やす等を考えてはどうか。	
	運行ルート	A	国保中央病院へのルートは、朝の時間帯1本のみ残してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 的場—国保中央病院の廃止ルート（午前中のみ町外にある病院までデマンド運行で対応できるか） 百済エリアの新ルート（古寺—町役場を繋ぐ運行ルートを設定できるか。）
			百済エリアは古寺—町役場を繋ぐルートがあるといいのではないか。	
	B	基本的にとりまとめの内容でよいが、的場から国保中央病院には、午前中の移動手段があると良い。		
	停留所	A	百済エリアを周るのであれば、役場の北側にバス停を1つ追加してもよいのではないか。	
B		とりまとめの内容でよい。		

グループワーク①実現化に向けた具体策や課題 まとめ -支線(デマンド)-

支線（デマンド）のとりまとめ内容を踏まえ、各班からあがった今後検討してほしい内容をまとめると以下の通りである。

	項目	各班の意見		全体まとめ（今後の検討事項）
支線 (デマンド)	乗降地点表示	A	道路へのペイントでよい。	<ul style="list-style-type: none"> 路面ペイントの表示内容（乗降地点名+番号のセット表示を実施できるか）
		B	路面ペイントは地点番号、地点名をセットにしてほしい。	
	乗継地点	A	乗り継ぎは不便かつ時間がかかってしまうため、なるべく乗り継ぎはなしの方がよい。	<ul style="list-style-type: none"> 乗継地点箇所（目的地までの到着時間を短縮するために全停留所を乗継地点として設定できるか）
		B	運行開始後の利用状況を見て、利用者が少ない場所は減らしてよい。	
	運賃	A	乗り継ぎ時の運賃が400円になるのは高い印象。距離によって料金を変える等なるべく安くしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 乗継運行時の運賃タイプ（距離別 or 一律運賃） 割引、無料乗車対象者の条件（高齢者、幼児運賃、障がい者と同乗する介護者運賃等） 乗継運賃の割引制度（最大運賃300円程度に設定できるか）
		B	乗継運賃は割引制度や乗車距離別運賃制を導入してほしい。出来れば～最大300円ぐらいがうれしい。	
	支払方法	A	10枚1セットの回数券のほか、運賃がお得になる支払方法は複数用意してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 乗り放題プラン、回数券のセット内容（乗り放題の期間及び運賃、回数券セット枚数及び利用期限等）
		B	10枚1セットの回数券、乗り放題プラン以外にも1日乗車券があるとよい。	
	予約システム	A	LINEやアプリで予約する方が便利のため、それらを使う予定だが、電話予約もあったほうがよい。	<ul style="list-style-type: none"> 電話による予約システム（アプリ、LINEで予約がスムーズにできなかった場合に利用できるか）
		B	基本的にアプリやLINEでよいが、運行開始時は予約ができるか不安なので、電話予約も必要。	

広陵元気号の認知度向上策、利用促進策の具体的なアイデアは以下の通りである。

	認知度向上	利用促進策
イベント	<ul style="list-style-type: none"> • 主な移動の目的地（スーパーや病院等）で乗車イベントを実施し、一度乗ってもらう機会をつくとよい。 • よしもと芸人など著名人を呼んだイベントを実施する。 • デマンド開始時に無料乗車券を配布する。 • 町のイベント時は無料で乗車できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> • これまで広陵元気号のことを知っていても不便なイメージが強かったため、デマンドに変わることで便利になるアピールをすべき。 • 免許返納を検討している人に向けて、返納後の移動手段をイメージしてもらうためのイベントを開催すると安心できるのではないかな。 • 友達と乗ると割引になるなど、複数人で楽しく出かけようとするきっかけになるとよい。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> • 町の広報誌に毎月利用状況や口コミ等を含め、情報を載せる。 • 町の公式LINEで宣伝をする。 • 元気号推進委員を作り、町民自らも広めていけるようにする。 • 広陵元気号のゆるキャラ等をつくり、適宜利用状況等を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 口コミが重要のため、利用者の声をもっと発信する。 • 町からだけでなく、利用者側からも利用促進のための発信をできる場があるとよい。 • スーパー等と連携し、広陵元気号に乗ることで何かお得になるとよい。
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> • 降りるタイミングを柔軟に対応してもらえたら、より便利になって利用者が増えるのではないかな。

広陵元気号の認知度向上策、利用促進策の具体的なアイデアは以下の通りである。

	認知度向上	利用促進策
イベント	<ul style="list-style-type: none"> 新しい広陵元気号の運行に合わせてセレモニーを開催 町内小中学生を対象に車両デザイン募集（現在の広陵元気号とデザインを変えることで、新しい広陵元気号をアポールもできる） 運行開始時だけセレモニーをするのではなく、毎月PRするイベントを継続する 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月、広陵元気号利用デーを決めて、乗客には町内で使える無料や割引のクーポン等を渡す。 町内のイベント日（広陵かぐや姫まつり等）は、町民無料乗車デーとする。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌に広陵元気号関連記事掲載枠を作って、乗車方法、乗降地点、関連情報を発信する。 香芝市コミュニティバスの時刻表、コースを記載したチラシを作っているのので、同じようなものが欲しい。 LINEの広陵町アカウントから乗車方法、乗降地点マップ、本日の運行状況等を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 広陵元気号の乗車中の快適性、室内の清潔さ等を発信すること。 運転手さんがとても親切なことも発信すると、今まで利用したことない人も安心して乗車できる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 支線（デマンド）を使って町内のスーパーや小売店に行って買い物をしたら、割引制度が欲しい イベント日（ハロウィン、クリスマス等）に車両を特別ラッピングする 若い世帯向けの広陵元気号PR動画を作成（若者世帯の利用が少ないのでは？） 	<ul style="list-style-type: none"> 社内でBGM（いろんなジャンルの音楽）を流す。 町外主要目的地へのアクセス（乗継運行）も予約できるようになると良い。